

# 福岡県家具ブランド力向上支援事業 製品企画力高度化支援事業における製品開発事例 －ペット用家具の開発－

隈本 あゆみ\*1 富永 由佳\*1 友延 憲幸\*1 青木 幹太\*2 馬場 末広\*3 松本 豊\*4

## The Project with which it's Supported to Improve the Furniture Branding The Example Product Development by the Project with which its Supported to Advance the Product Planning Capability - The Product Development of Furniture for Pets - Yuka Tominaga, Noriyuki Tomonobu, Ayumi Kumamoto, Kanta Aoki, Suehiro Baba and Yutaka Matsumoto

株式会社馬場木工は、玄関収納家具を中心として、公共施設・商業施設・マンションなどのオーダー家具の製造・販売を行っている企業である。株式会社馬場木工は以前、震災時にペット用靴を開発した企業からペット用靴箱の製作を依頼され、生活環境の変化によるペット用家具の新たなニーズがあることを掴んだ。そこで、「福岡県家具ブランド力向上支援事業 製品企画力高度化支援事業」に参加し、新たな市場参入及び基幹製品の開発を目的に、主力である箱物家具とは異なるペット用家具の開発に取り組み、猫用のテーブルなどを開発し、製品化した。

### 1 はじめに

本報では、「福岡県家具ブランド力向上支援事業 製品企画力高度化支援事業」（以下、「本事業」という）における株式会社馬場木工（以下、「馬場木工」という）の製品開発の取組を報告する。本事業の目的や概要については、令和2年度研究報告掲載「家具ブランド力向上支援事業製品企画力高度化支援事業における製品開発事例（その1）」<sup>1)</sup>を参照していただきたい。また、本事業において馬場木工の製品開発に関わった製品開発グループおよびデザイン事業者のメンバーについて表1に示す。

表1 製品開発グループとデザイン事業者

製品開発グループ	デザイン事業者
・九州産業大学 芸術学部 青木幹太教授 ・株式会社馬場木工 ・インテリア研究所	・松本意匠

### 2 事業の取り組み内容

#### 2-1 製品開発の目的

馬場木工は、玄関収納家具を中心として、公共施設・商業施設・マンションなどのオーダー家具（写真1左 参照）の製造・販売を行っている企業である。設計から開発まで自社内でしか行ったことがなく、同じような商品が生まれやすいという課題があり、新たな視点で商品開発を行いたいという意向があった。また、以前、震災時にペット用靴を開発した企業からペット用靴箱（写真1右 参照）の製作を依頼されたことがあり、生活環境の変化によるペット用家具の新たなニーズがあることを掴んでいた。そこで、本事業では、主力である箱物家具とは異なる、新たな市場参入及び基幹製品の開発を目的に、ペット用家具の開発に取り組んだ。



写真1 馬場木工の既存製品

オーダー家具の AV ボード(左) ペット用靴箱(右)

\*1 インテリア研究所  
\*2 九州産業大学 芸術学部  
\*3 株式会社馬場木工  
\*4 松本意匠

## 2-2 製品コンセプトの構築とデザイン事業者の選定

製品コンセプトの構築は馬場木工が中心となり、適宜、製品開発グループがフォローを行う体制で行った。

馬場木工は、ペット用家具を開発する上で、「ペットが快適に過ごせること」を最も重視していた。その理由は、市場に出回っているペット用家具の中には、人間用の家具をペットのサイズに合わせて小さくしたような製品もあるが、ペットにとって必ずしも使い心地が良いとは言えないのではないかと感じていたためである。そこで、ペットにとっての使いやすさや心地良さを重視し、ペットが快適に使用できる機能を兼ね備えた家具を開発することとした。

また、デザイナーから自由な提案をしてもらうため、対象とするペットの種類に少し幅を持たせ、小動物(小鳥・ハムスター・うさぎ・ハリネズミなど)から猫・中型犬までとした。そして、製品サブテーマを3つ設け、その中からデザインしたいものを選択してもらう方式とした(図1)。

### 【製品サブテーマ①】

飼い主とペットと一緒に食事をするための椅子  
(例：テーブル用ペット専用椅子)

### 【製品サブテーマ②】

一般的な照明(人に合わせた照度や輝度の照明)や(温度)環境変化に弱いペットのための居室  
(例：屋根付き部屋、移動型ゲージなど)

### 【製品サブテーマ③】

介護期において環境ストレスを感じない(バリアフリー対応)寝床  
(例：スロープ付ベッドなど)

図1 製品テーマ

以上を踏まえ、開発したい製品のテーマを“人とペットが、自然素材(木材)で、あたたかさ、ぬくもりを感じながら、共に暮らしていける優しさを感じる木製用具や木製家具のデザイン”として図2に基づき仕様書を作成し、デザイン事業者を全国から公募した。

公募の結果、複数のデザイン提案の中から、最もコンセプトに合致しており、安全性も高いデザインである松本意匠(福岡県)の「ねこの所作を整える家具」

(図3参照 ねこイスA, ねこイスB, ねこハコの3アイテム)を採用した。

### (基本コンセプト)

人の暮らしに溶け込み、ペットが快適に過ごせるための機能性家具

### (デザイン仕様書の主な仕様)

- ・自然素材(木材)で木のあたたかさ、ぬくもりが感じられるもの
- ・木質を生かしたインテリア性があるもの
- ・室内、主にリビングで使用するもの
- ・事故(怪我)を起こさないように配慮したデザイン

図2 仕様書の概要



図3 採択した「ねこの所作を整える道具」  
ねこイスA(左上), ねこイスB(右上),  
ねこハコの使用例(下)

## 2-3 デザインの具現化(製品の製作)

製品開発グループと馬場木工は、猫にとって快適な製品かどうかは実際に猫が使用することが最適であると判断した。まず、第一試作を作り、猫(松本意匠の飼い猫)が実際に使用し、課題を抽出した。その結果、

ねこイス A とねこイス B において、大きい猫にとっては棚板が小さく、強度が弱いということが分かったため、棚板のサイズを大きくし、棚板が棚ダホを完全に覆うような構造にすることで強度を向上させた。また、ねこイス B は、イスをテーブルにセッティングした際に、猫がハンモックの壁に隠れることができるよう、餌台を回転できる仕様になっていた。(図 3 右上 参照)しかし、コスト削減のため餌台の取り付けは、ねこイス A と同じ構造にし、ねこイス A, B ともに、ハンモックの壁の位置を変更できる構造に修正した。

ねこハコにおいては、ハンモック仕様(図 3 下 参照)にする際、平らな面を下にしていたが、曲面を下にすることで、猫がくつろげるスペースが広くなり、かつ、ハンモックのように揺れる楽しさを味わえろと考え、曲面を下にする構造に変更した。

また、商品を販売するに当たって、「ねこイス A」は「キャットテーブル Rin」、「ねこイス B」は「キャットテーブル Sora」、「ねこハコ」はサイズごとに「ユニット S, M, L」という商品名を採用した。

完成した製品は写真 2 の通りである。

主力製品となる「キャットテーブル Sora」は意匠の権利を保護することを目的として、馬場木工と福岡県との共同出願という形で全体意匠を出願し、登録された<sup>2)</sup>。

### 3 まとめ

馬場木工は本事業に参加し、製品開発グループの協力を得て、製品コンセプトを構築した。さらにそのコンセプトに基づいたデザインを松本意匠が担当することで、「キャットテーブル Rin」及び「キャットテーブル Sora」「ユニット S, M, L」を製品化した。

現在、展示会への出展(写真3)や、ペットショップへの持ち込みなど精力的に販促活動を行っている。



写真 2 完成した製品  
キャットテーブル Rin (左上)、  
キャットテーブル Sora (左下)、  
ユニット S, M, L (右)



写真 3 展示会出展の様子

### 4 参考文献

- 1) 石川弘之, 隈本あゆみ, 西村博之, 青木幹太, 酒見史裕, 酒見典広, 田中敏憲: 福岡県工業技術センター研究報告, No30, pp. 21-24 (2020)
- 2) 著作権: 意匠登録 第1760352号